



今町推第 53 号  
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 様

今金町長 外 崎 秀 人



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について  
平成19年 4月2日付け国道企第114号により依頼のあったこのことについ  
て、別添のとおり送付いたします。

(まちづくり推進課)

## 中期的な計画の作成にあたっての意見について

今金町長 外崎 秀人



この度、道路整備の中期計画策定に取り組む事となりましたが、一自治体としての実情と道路政策へ意見を述べさせていただきます。

この間、末端自治体までもの道路整備とその管理にご配慮いただいておりますことに敬意と感謝をしているところであります。

町村道については遅々とはありますが整備を進めています。しかし、その舗装率も4割台で、住民の要望に応えられない状況にあります。

又、そこに接続する道道は利用率の高い部分については一定の整備がされていますが、今後においても道道整備に向けて要請をして行きたいと考えています。

さて、国道についてであります。現況では早い段階からの整備について配慮を頂いてきているところでありますが、高速交通体系に連動した道路網の整備は、住民生活とりわけ医療面での安全確保は最重要課題であり、疲弊してきている地域産業の振興には流通体系と相まって左右されるところであります。特に、本町を取り巻く北海道南西部地域にあつてはその必要性から、平成6年に地域高規格道路計画路線指定を受けて延長約60kmのうち5kmの完成をみ、現在15km区間の整備に着手していただいているところであります。しかし、全体計画の展望は見え、地域の衰退を防ぐ意味からも、早期の整備計画策定と事業着手に向けた対応を要請して参りたいと考えているところであります。

この間、道路計画の要請に当たっては、檜山管内開発期成会を通じて活動をしてきていますが、一般国道の改修事業ということからすると、その道路整備の原資たる「道路財源の確保」をしていかなければならないことから、最優先要請として訴えてきたところであり、今後におきましても本町住民の総意をもって努力をして参りたいと考えております。

国道整備については、地方における最大の課題であり、行政に対する要請・要望の7・8割は道路整備を内容とするもので日常生活上の利便性の中でも優先度の高いものであります。しかし、その整備精度は規格の高い道路というより現道を基本とした再整備であり、住民も財政の厳しさを充分認識しているところであります。

いずれにいたしましても、豊かな生活環境を築くうえで、物流・高度救急医療・観光の面等において、道路整備は重要な位置づけにあり、国道230号線の地域高規格化の整備促進を含め、道路財源の確保について特段のご配慮をお願いいたします。